

ビジネス・エニアグラム

■ビジネス・エニアグラムとは

『人類の知恵』と言われる“エニアグラム”の理論をビジネス界に応用するために、株式会社CAP総研が開発したメソッドやツールの集合体を意味します。

■ビジネス・エニアグラムを研修に活用する利点は

- 1) 受講者の特質に即した個人別の成長課題に取り組めるため、納得性を高め実質的な効果が得やすくなる。
- 2) 判断行動の傾向を生んでいる潜在心理を認識するため、自分を変える心のスイッチを手に入れることができる。
- 3) 単なるハウツーではなく内面的な成長をもたらすため、研修後も心に残り永く役に立つ。

自己成長

行動変容理論『人間的成長セオリー』

無意識の動機(囚われ)に気づき、潜在力を解放する行動変容理論。
マネジメント行動変革研修の中心的なセオリー。

『自己変革のスパイラル』(ワークシート有)

人間的成長セオリーに基づいた体験的な行動変革プロセス。
マネジメント行動変革研修では、このプロセスに沿って研修・実践が行われる。

『自己認識チャート』(ワークシート有)

過去の経験から無意識の動機(囚われ)の影響を事実として確認するツール。
研修では、主に自己認識・他者認識の演習に用いられる。

『Personal-Consulting』(ワークシート有)

講師が受講者の行動変容をサポートする個人面談方法。
人間的成長セオリーに基づき、様々なメソッドを駆使して潜在力を引き出す。

『意識の三悪』

逃げ・諦め・思い込みの行動を書き出すことで自己防衛心理を認識するツール。
研修では、自分の成長課題を明確にする目的で用いられる。

『気づきの質問』(ワークシート有)

タイプの行動傾向が組織や自己成長に悪影響していることを認識するツール。
無意識の動機(囚われ)を解放する必要を意識する討議に用いられる。

『7つの癖』

タイプ毎に行動変容する方法を、癖を止める行動として具体的に示唆している。
無意識の動機で反応することを止め、始めるべき行動を記述している。

『エニアグラム・カード』

人間関係づくりや人間的成長のヒントが書かれた名刺サイズのカード。
無意識の動機(囚われ)や成長方向を意識し続けるために携帯して使う。

世界的な人間学『エニアグラム理論』に基づいて
個の成長と組織の成長をサポートするための道具

組織成長

『相互成長対話』(ワークシート有)

互いに認め合い、刺激し合いながら共に成長し協働するための対話方法。
囚われを相互理解することで、心を近づけ、目的を共有し、互いに与え合う。

『Open-Meeting』(ワークシート有)

組織活性化への自走力を持つためのミーティング手法。
オープンな文化をつくり、組織の成長サイクルを回し続ける実践力を養う。

『タイプ間の関係性』

45通りのタイプの組み合わせごとに、相手との関係が悪くなる状況と、その状況を避けて相乗効果を生み出す心構えを記述している。

『支援者マニュアル』

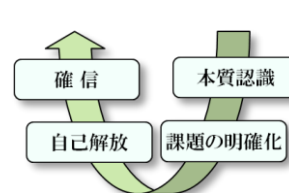
相手の人間的成長を支援する人のために作成された冊子。
「人間的成長を支援するヒント」や「支援者自身の注意点」をタイプ毎に記述している。

『エニアグラム・リーダーシップ』

リーダーが人間的に成長すると組織力が高まることを意識するためのヒント。
目指すべきリーダーの在り方を各タイプ別に記述している。

『人材育成マップ』

自己流の育成を止めて、タイプの特徴に合った育成を実践するためのヒント。
長所を伸ばす指導、人間的成長を促す指導のポイントを記述している。



人間的成長セオリー



自己変革のスパイラル

相互成長対話の三原則

1. 心を近づける
互いの囚われについて話し合う
2. 目的を共有する
作りたい関係、解決したい課題を共有する
3. 互いに与え合う
互いに刺激し合う